

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 6 日現在

機関番号：13801

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2013～2014

課題番号：25590111

研究課題名(和文)ユーゴスラビアからの独立諸国における平和構築と人権・人権教育

研究課題名(英文)Peace-building and human rights/human rights education in former Yugoslavian countries

研究代表者

板倉 美奈子 (ITAKURA, Minako)

静岡大学・法務研究科・准教授

研究者番号：50257440

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,800,000円

研究成果の概要(和文)：1) 海外現地調査(2014年2月13日～24日) オーストリア、スロベニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナにて、旧ユーゴ諸国において人権教育にかかわる研究者等に対するヒアリングを実施した。  
 2) シンポジウムの開催(2014年11月29日) 民科法律部会学術総会(於・龍谷大学)において、ミニシンポ「多民族共生への模索 人権都市グラーツと旧ユーゴ諸国」を開催し、オーストリアよりB.Schmiedl氏を招聘、人権都市の試み、人権教育、平和構築と人権、EU加盟と人権問題について報告、討論を行った。  
 3) 研究成果の公表 上記の成果をふまえて、『法の科学』46号(2015年秋刊行予定)に論稿を寄稿した。

研究成果の概要(英文)：1) On-the-spot investigation (13th - 24th February 2014) We visited Austria, Slovenia, Croatia and Bosnia and Herzegovina and hold hearings from scholars and activists engaged in human rights educations in these countries.  
 2) Symposium (29th November 2014) We hold a symposium titled "In search for multi-ethnic society - Graz, as a human rights city and former Yugoslavian countries" on the 2014 meeting of the Law Section of the Association of Democratic Scientists in Japan at Ryukoku University. We invited Ms.Barbara Schmiedl from Austria as a key speaker in this symposium and we also presented about human rights educations (Nakasaka), peace-building & human rights (Okada) and EU accession as an incentive to human rights implementation (Itakura).  
 3) Results briefing We each wrote academic papers about each themes, based on the results our research and symposium above. These papers will be published in this autumn.

研究分野：国際公法

キーワード：旧ユーゴ諸国 多民族共生 人権教育 平和構築 EU加盟

## 1. 研究開始当初の背景

民族対立を背景とする激しい内戦を経て独立した旧ユーゴスラビアからの独立諸国（以下「旧ユーゴ諸国」と略記）は、独立後国家建設とともに平和構築という重い課題に直面した。このプロセスにおいて重要な役割を果たすと考えられるのは人権であり、そのためには各国における人権意識普及のための人権教育が重視された。これら諸国では、オーストリアなど西側諸国の主導により、主要大学等に人権センターが設置され、国内の教育機関等と連携して、国民全般に対する人権教育が行われてきた。そして、2013年には、本格的な内戦を経験した旧ユーゴ諸国としては初めて、クロアチアが人権基準を含むEUの加盟基準を充足したとみなされ、EU加盟国入りを果たしたが、他の諸国については、いずれも加盟を希望しながらも、ほかならぬ人権問題が障害となって、いまだ加盟が認められていない等、加盟に向けてのプロセスは順調とはいえない状況にある。

かたや、現在、日本においてはヘイト・スピーチ問題など、旧ユーゴ諸国とは異なる文脈で多民族共生のあり方が問われ、そのための人権教育の必要性が唱えられている。その意味で、旧ユーゴ諸国の経験は、これからの日本にも貴重な示唆を与えられるものであろう。しかし、これまで日本国内においては、多民族共生という観点から人権・人権教育について取り上げるような先行研究はあまり見られないことから、旧ユーゴ諸国の経験や現状の分析を通じて、この問題について洞察をすることに本研究の意義があると考えた。

## 2. 研究の目的

旧ユーゴ諸国の国家建設・平和構築に向け

てのプロセスにおいて、人権問題がどのように位置づけられ、そのための人権教育がどのように実践され、それが多民族共生に向けていかなる役割を果たしてきたのかについて考察し、旧ユーゴ諸国における人権・人権教育の現状を知らしめることにより、日本がそこから得られる教訓や課題を導出するための素材とすることを、本研究の目的とした。

## 3. 研究の方法

(1) 旧ユーゴ諸国における人権教育の導入に主導的な役割を果たしてきたオーストリアの「人権と民主主義のためのヨーロッパ訓練研究センター(ETC)」およびこれと連携するスロベニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナの人権センターの関係者等に対するヒアリング調査を実施した。

対象者は、ウィーン大学(オーストリア)大学院で世界各地からの留学生を対象に人権教育を行っている Hoffstaetter 教授、グラーツ大学(オーストリア)で人権教育を実践する傍ら、ETC センター長として旧ユーゴ諸国における人権教育ネットワークの構築に尽力してきた Benedek 教授および ETC メンバーとして人権教育の現場で活動してきた Schmiedl 氏、リュブリャナ(スロベニア)の人権・少数民族問題に関する研究機関の責任者を務めながら、ヨーロッパ各地の大学で人権教育を行ってきたリュブリャナ大学の Zagar 教授、ザグレブ大学(クロアチア)で教鞭をとりつつ、クロアチア国内で活発な人権教育活動を行ってきた Vrkas 教授、サラエボ大学(ボスニア・ヘルツェゴビナ)で人権教育を実践している Zivanovic 教授の6名である。

(2) 上記ヒアリング調査や関係国際機関の一次資料や関連文献の分析を通じて、国際社会における多民族共生のための人権教育の歴史的展開(中坂)、クロアチアの平和構築過程における人権、とくに女性の権利・ジェンダーの役割と現状(岡田)、EU加盟基準としての人権基準が2013年に加盟を実現したクロアチアに及ぼした影響や課題(板倉)について考察した。

#### 4. 研究成果

(1) 関係各国(オーストリア、スロベニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ)でのヒアリング調査により、旧ユーゴ諸国における人権問題や人権教育の歴史、現状および課題について多くの情報を得ることができたとともに、各国の研究者・活動家との人的なネットワークも構築することができた。

(2) 現地でのヒアリング調査や資料・文献の分析・検討をふまえた各自の研究成果をシンポジウムという場で報告した(詳細については5.を参照)。また、(1)の調査で構築した人脈から、オーストリアの「人権と民主主義のためのヨーロッパ訓練研究センター(ETC)(3(1)参照)のBarbara Schmiedl氏をシンポジウムの基調講演者として招聘し、ETCの本拠地であり、ヨーロッパ初の人権都市宣言をしたグラーツ市の取組みや、ETCと旧ユーゴ諸国の人権センターとの人権教育のためのネットワークの活動について講演していただいた。

(3) (2)のシンポジウムでの討論等をふまえて論稿として具体化させた(詳細については5.を参照)。これらを通じて、今後、

日本における多民族共生に向けて人権・人権教育が果たしうる役割について国内外の研究者・実務家等と情報交換や議論を行うための基盤を作ることができた。

#### 5. 主な発表論文等(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計3件)

中坂恵美子「国際社会における人権教育の進展」法の科学46号(近刊予定)、査読なし

岡田順子「国際社会のジェンダー平等の取組 - 旧ユーゴスラビアにおける『民族浄化問題』を経て - 」法の科学46号(近刊予定)、査読なし

板倉美奈子「クロアチアのEU加盟プロセスにおける人権・少数民族問題」法の科学46号(近刊予定)、査読なし

[学会発表](計4件)

中坂恵美子「人権教育に関する国際的な動き」民主主義科学者協会法律部会2014年度学術総会(2014年11月29日、於・龍谷大学・大宮キャンパス、京都府京都市)

岡田順子「平和構築とジェンダー」民主主義科学者協会法律部会2014年度学術総会(2014年11月29日、於・龍谷大学・大宮キャンパス、京都府京都市)

板倉美奈子「クロアチアのEU加盟プロセスにおける人権・少数民族問題」民主主義科学者協会法律部会2014年度学術総会(2014年11月29日、於・龍谷大学・大宮キャンパス、京都府京都市)

板倉美奈子・岡田順子「旧ユーゴ諸国における平和構築と人権・人権教育：現地

調査報告「民主主義科学者協会法律部会  
2013 年度合宿研究会・国際法分科会  
(2014 年 3 月 29 日、於・いわき新舞子  
ハイツ、福島県いわき市)

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

板倉 美奈子 (ITAKURA Minako)  
静岡大学・大学院法務研究科・准教授  
研究者番号 50257440

### (2) 研究分担者

岡田 順子 (OKADA Junko)  
神戸大学・大学院海事科学研究科 (研究  
院)・准教授  
研究者番号 00213942

中坂 恵美子 (NAKASAKA Emiko)  
広島大学・大学院社会 (科) 学研究科・  
教授  
研究者番号 20284127